



芙蓉ミオ・ファミリア だより

～いつまでも素敵な笑顔でいて欲しいから～



2022年6月号



オンライン研修

感染症に強い施設を目指す



先日、東京福祉保健局による感染症研修に参加しました。感染症、というコロナウイルスが一番に頭に思い浮かびますが感染症はコロナウイルスだけではありません。

私達の身の周りには、ウイルスだけでなく細菌も含め感染症の原因となるものは広く生物界に存在しています。まさに、人間は感染症と戦いながら歴史を刻み、深く関わりながら共存し、暮らしているのです。江戸時代には、麻疹、天疱瘡、コレラが大流行し、多くの死者が出た歴史もありました。今、まさに歴史は繰り返し、二〇一九年の中国武漢市で一例目が報告されてから、私達はコロナウイルスとの戦いを強いられる事になりました。

様々な情報収集をしながら、私達はミオ・ファミリアのご入居者と職員、家族の健康を守る為に日々感染対策に取り組んでいます。感染症に強い施設を目指すという事は手指衛生・環境整備を基本とし早期発見早期対処、施設内にウイルスを侵入させない水際対策が重要です。これからも皆様の健康と日々の暮らしを守る為に、職員一同取り組んでまいります。

施設長 岩瀬 正子

ケアプラン作成について

ご入居者が施設での生活を送るにあたり「施設サービス計画書(ケアプラン)」というものを作成しています。ご本人やご家族にご提案することがケアマネジャーの業務になります。

ケアプラン作成にあたっては、ご本人の心身状況・生活歴・ご意向を踏まえて、ご入居者お一人お一人に対しどのような支援をしていくかを、ケアマネジャー、介護職員、看護職員や管理栄養士等が集まり議論しています。

つい「心身状況」ばかりに目がいきまいますが、「生活歴」を踏まえた取り組みをできればと考えております。

ご入居者にはそれぞれの人生や価値観・生活習慣(=生活歴)があり、そういった背景から「こんな風に暮らしていきたい」「困ったときはこうしてほしい」といったご意向は、各々違ったものになっていきます。

コロナ禍でご家族とのケアプラン面談もままならない状況が続いておりますが、できる限りご入居者のご様子をこまめにお伝えして、ご本人やご家族の生活歴やご意向を踏まえたケアプランの作成をしたいと思います。お電話等でお話しさせていただく際には、お若いころのお話や思い出話等も教えていただければ幸いです。

介護支援専門員 佐々木 理恵

フルーツバイキング



5月30日にフルーツバイキングを開催しました。ミニパフェ2種、びわゼリー、フルーツサンドイッチ2種を含む15種類の果物が並びました。

リンゴはスワンの形に、パインは市松模様に、スイカはおぼけの形にカットされ見た目も楽しめるものになりました。



栄養科の富永さんによるメロンカットのパフォーマンスもあり、いつもとは違ったおやつタイムを過ごすことができました。



茶話会



今月はコーヒーとケーキを楽しんでいただきました



5月生まれの方のお祝いをしました。

誕生会



お散歩

グループホームのお庭に咲いている花の名前を口ずさみながらお散歩を楽しみました



常菜食

ソフト食

端午の節句
行事食

医療法人社団 芙蓉会

芙蓉ミオ・ファミリーア町田

〒194-0005 東京都町田市南町田 3-43-1

Tel : 042-788-3310 Fax : 042-788-3312